

ロボット支援胃がん手術が 先進医療として認められました!

全国で4番目!



総外科副部長 おばま かずたか
小濱 和貴

京都市立病院で実施する手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ (da Vinci Surgical System)”を用いた胃がんの胃切除術が、一般の保険診療で認められている医療の水準を超えた最新の医療である「先進医療」として全国で4番目に認められました。

先進医療はほとんどが大学病院や研究機関で行われています。臨床だけを行う病院では極めて進んだ取組です。

今回は、当院でこの胃がんのロボット支援手術を行っている総外科副部長の小濱先生にお話を聞きました。

Q ロボット支援手術って何ですか? また、良いところは何ですか?

A ロボット支援手術というと「ロボットが人に代わって自動で手術をしてくれる」と思われる方も多いのではないのでしょうか。しかし、このロボットは少し違います。自動で動くのではなく、外科医が3D映像を見ながら遠隔操作し、人よりも精密な動きができるロボットを操って手術をするのです。メスやカメラの小さな侵入口だけあれば手術できるので患者さんの負担が少なくて済むのはもちろん、このロボットには4本のアームがあり、人の手よりも多くの関節をもっています。スムーズに動くだけでなく、手ぶれを補正し、より精密な手術ができます。さらには、立体的で高画質な3D映像で拡大して見ることで、直接見るよりも細部まで確認することもできます。



Q 先生が望んでいる動きができ、メスが届かないところまで届き、直接見えないところまで見えると手術もより精度が高くなりそうですね。患者さんへのメリットはありますか?

A 主には2つあります。1つめは、「合併症を減らすことができる」点です。手術後は、お腹の中に膿が溜まるなどの合併症が起こり、回復に時間がかかってしまうことがあります。ロボット支援手術では、従来の方法よりも合併症が少ないという研究結果がでています。2つめは、「再発を減らす可能性がある」点です。高精度の映像でより細部まで確認でき、従来の手術では届きにくかった所までロボットの手が届くので、とりにくかったがんまできれいに切除することができるからです。

Q ロボット支援手術は外科医であればだれでもできるのですか?

A 外科医であっても資格や訓練が必要です。特に、今回認定を受けた先進医療は、厳しい条件*1を満たした外科医だけが行うことができます。京都市立病院以外では藤田保健衛生大学、佐賀大学医学部附属病院、静岡がんセンターにしか認められていません。

*1 条件: ①「日本消化器外科学会消化器外科専門医」「日本内視鏡外科学会技術認定医」「DVSS Certificate (手術支援ロボットの認可)」の3つの資格を取得していること。 ②10例以上のロボット支援胃がん手術の経験があること。

Q 先進医療って少し不安という方もいると思いますが、安全性はどうですか?

A 先にも述べたとおり、先進医療は安全性をしっかりと確保するため、厳しい条件を満たした医師だけに認められています。また、当院では、前立腺がん100例以上、胃がん20例以上のロボット支援手術を行っており、手術スタッフも十分にトレーニングされていますので、安心して手術を受けていただけます。

Q すでに多くの患者さんがロボット支援手術を受けておられるのですね。最後に、小濱先生から一言お願いします。

A 京都市立病院の消化器外科は、腹腔鏡や胸腔鏡などの患者さんの身体への負担が少ない低侵襲手術を行ってきましたが、今回新たにロボット支援手術が加わり、より多くの治療の選択肢を提供できる病院になりました。ぜひ、私ども京都市立病院にご相談ください。様々な治療方法の中から、より良い方法を一緒に考えていきたいと思います。



地方独立行政法人 京都市立病院機構
京都市立病院
地域医療連携室

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-2
TEL 075-311-5311(内線2115) FAX 075-311-9862
事前予約医療機関専用電話(地域医療連携室直通) 075-311-6348
<http://www.kch-org.jp/>

京都市立病院

連携だより

vol.17
平成27年7月

- 子どもの病気ではなく、病気の子ども(人)を診ることをモットーに
- 消化器センターからのお知らせ
- 京都市立病院「登録医(かかりつけ医)」のご案内
- 京都市立病院に「庭園」ができました。
- 紹介患者さま事前予約のご案内
- ロボット支援胃がん手術が先進医療として認められました!

京都市立病院機構理念

京都市立病院機構は

- 市民のいのちと健康を守ります
- 患者中心の最適な医療を提供します
- 地域と一体となって
健康長寿のまちづくりに貢献します

京都市立病院憲章

- 1 質の高い安全な医療を提供するとともに、地域の医療水準の向上に貢献します。
- 2 患者の権利と尊厳を尊重し、心のこもった医療を提供します。
- 3 救急や災害時における地域に必要な医療を提供するとともに、地域住民の健康の維持・増進に貢献します。
- 4 病院運営に参画する事業者等とのパートナーシップを強め、健全な病院経営に努めます。
- 5 職員の育成に努め、職員が自信と誇りを持ち、全力で医療に従事できる職場環境を作ります。

子どもの病気ではなく、 病気の子ども(人)を 診ることをモットーに



小児科部長
岡野 創造

当科の特徴

小児の疾患は多岐にわたります。当科では、専門性を持ちつつも救急を含めたすべての小児疾患を診療することを目指し、14名の小児科医師が日夜頑張っています。

当科が対応している各分野について紹介します。



血液・腫瘍

白血病をはじめとする悪性血液疾患や神経芽腫などの小児癌を診療しています。平成5年から難治性の血液疾患や免疫不全に造血細胞移植(骨髄移植・臍帯血移植)を約80例に行ってきました。これまでに蓄積された経験を活かし、2つある小児科専用の無菌室を活用して治療しています。

応じて腎生検を行い、腎疾患の診断・治療方針に役立てています。

代謝・内分泌

甲状腺機能の異常や低身長、下垂体機能低下、糖尿病、先天性代謝異常などの児を診療しています。

神 経

てんかん患者約400名を含め、重症心身障害児を含む精神遅滞や脳性麻痺、熱性けいれんを頻回に起こす児、発達の遅れ、神経皮膚症候群、自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害、髄膜瘤・脳腫瘍・脳血管疾患などの脳神経外科の術後患者も診療しています。

新生児

早産児をはじめ新生児仮死や感染症などの病的新生児を診療しています。京都府新生児搬送システムにおける病的新生児受け入れ病院になっていますが、



腎 臓

腎炎、ネフローゼ症候群、先天性の尿路奇形、夜尿症などを診療しています。腎不全の小児には腹膜透析も行います。3歳児検尿や学校検尿で精査が必要になった症例にも対応しています。また、必要に

システムを介さない近隣の産科施設からの直接の新生児搬送にも対応しています。当院の眼科と連携して未熟児網膜症の診断・管理・治療が可能です。カンガルーケアなどの育児支援も積極的に行っています。

アレルギー

喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどを診療しています。食物アレルギーに対しては日帰り入院で食物経口負荷試験を年間100例以上に行い、児の除去食品がなるべく少なくなるように心がけています。

循環器

川崎病や先天性心疾患を診療しています。手術などのより専門的な対応が必要な症例については、小児循環器の専門の医療機関と連携しています。学校での心臓検診の精査にも対応しています。

感染症

海外渡航に備えた予防接種を行っています。結核や帰国者の特殊な感染症も診療しています。

救 急

24時間対応で小児科医師が診療しています。

最後に

我々京都市立病院の小児科医師は、疾患や検査の異常値だけにとらわれるのではなく、子どもや家族がどうすれば幸せになるかを考えるように心がけています。つまり病気を診るのではなく人を診るように心がけています。そして、入院患者の治療方針が主治医のひとりよがりにならないように、週に2回小児科医師たち全員でカンファレンスを行っています。そこでは看護師・薬剤師・栄養士・療法士・ソーシャルワーカー・学校の先生も必要に応じて参加し意見を出し合っています。今後は退院後に診ていただく地域の医療機関の先生方とももっと連携し、開かれた病院になることが必要と考えています。地域の先生方、どうぞお気軽にご相談ください。患者様をご紹介ください。そして、

予防接種

アレルギーや脳性麻痺や頻回にけいれんを起こす児など基礎疾患があって他院では接種しにくい症例にも絶対的禁忌でない限り積極的に接種しています。

乳児健診

早産児や病的新生児のフォローアップだけでなく、育児支援、育児相談にも応じています。

入院病棟

院内学級「わかば」で長期入院の児も学ぶことができます。また専属の保母さんがいて、病気や治療の苦痛をやわらげる楽しい工夫をしています。



是非とも我々のチーム医療に加わってご意見をいただけたらと思います。よりよい小児医療を提供し地域に貢献できるように、さらに努力していきます。よろしくお願い申し上げます。



消化器センター からのお知らせ



紹介患者様の上部内視鏡検査に関しては、
受診当日での検査対応が可能です。
患者様に絶食での受診をご説明ください。
またCT検査につきましても当日実施が可能ですので、
必要によりご指示いただければ幸いです。
今後とも宜しくご指導の程、お願い申し上げます。



京都市立病院に「庭園」ができました。



京都市立病院「登録医（かかりつけ医）」のご案内



京都市立病院は、地域医療の第一線を担われている先生方との連携を深め、地域全体でより安心できる医療を提供してまいりたいと考えます。

地域の健康を共に支えていくために、是非とも、京都市立病院の登録医（かかりつけ医）へのご登録をお願いいたします。

登録医（かかりつけ医）についてご質問等ございましたら、地域医療連携室までお問い合わせください。

登録医（かかりつけ医）制度のメリット

- ①かかりつけ医を希望される患者様には、当院の登録医を優先的にご案内（逆紹介）させていただきます。
- ②当院の開放型病床及び高度医療機器等をご利用いただき、共同診療が可能です。
- ③当院の図書室等、院内施設をご利用いただけます。
- ④当院主催の地域医療連携カンファレンス及び地域医療フォーラム等のご案内を送らせていただきます。
- ⑤登録医（医療機関）名を院内で掲示し、当院のホームページに掲載します。
- ⑥当院ホームページ用バナー広告、外来待合室のモニタースクリーン広告に申し込みます（有料）。



お問合せ

京都市立病院 地域医療連携室

TEL：075-311-5311（内線2115）

FAX：075-311-9862（専用）



紹介患者さま事前予約のご案内

医療機関さま用 紹介患者さま 外来診療・検査事前予約

FAX予約

- 当院では、患者さまの待ち時間を短くし、円滑に診療・検査を受けていただけるように、病院及び診療所の先生からの事前予約FAXを受け付けております。
- 希望診療科の担当医師の指定が可能になり（曜日に制限あり）、地域医療連携室にて受診日を調整いたします。
- 病院・診療所さまは診療情報提供書と受付票を患者さまへお渡し願います。ぜひご利用くださいますようお願い申し上げます。
- ★CT・MRI・PET-CT・胃カメラ等検査のみの予約も可能です。



■ご利用につきましては、以下の手続きをお願いいたします。

①「紹介患者様事前予約申込FAX用紙」に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXで送信してください。



②直ちに、予約をお取りし、「予約受付票」をFAXで返信します。ただし、受付時間外のFAXについては、翌営業日の朝にご連絡いたします。



③患者さまに右記をお渡しください。

・予約受付票 ・診療情報提供書（紹介状） ・フィルム等



④患者さまには受診当日、以下のものをご持参の上、本館1館『①番窓口』へお越しいただきます。

■先生から受取ったもの

・紹介状（診療情報提供書） ・予約受付票（受診日のお知らせ） ・フィルム等（お持ちの方）

■別に必要なもの

・健康保険証 ・各種受給者証等 ・お薬手帳又はお薬の服用状況等がわかるもの（お持ちの方）
・京都市立病院診察券（当院受診歴がある方）

■地域医療連携室での予約受付内容は以下のとおりです。

- ・各診療科の予約
- ・検査の予約

CT、MRI、RI（骨シンチ）、PET-CT、DPX（骨塩定量）、胃カメラ、運動負荷心電図、血圧脈波、心エコー（小児除く）、ホルター心電図、起立負荷試験（チルト）、細胞外液量測定、血管エコー、神経伝達速度、脳波（小児除く）、誘発脳波、針筋電図

予約
受付先

●京都市立病院地域医療連携室 TEL (075) 311-5311(代) (内線2115) FAX (075) 311-9862 (専用)

●事前予約医療機関専用電話（地域医療連携室直通） (075) 311-6348

事前予約受付時間（日曜・祝日を除く） 平日／8:30～20:00（木曜日は17:00まで） 土曜日／8:30～12:00
FAXは、24時間お受けしています。

地域医療連携相談業務 平日／8:30～17:00（月曜日～金曜日）

▶ 専用の申込用紙は、京都市立病院のホームページからダウンロードが可能ですので、ぜひご利用ください。

患者さま用

紹介患者さま事前予約センター

電話予約

- 当院では、患者さまからの事前電話予約を受け付けております。
 - 先生方からご紹介いただいた患者さまご自身が電話で予約をとれるサービスで、紹介患者さま事前予約センターにて受診日を調整します。
 - 患者さまのご都合に合わせた待ち時間の少ない受診が可能になります。
 - 病院・診療所さまは診療情報提供書と事前予約申込票を患者さまへお渡し願います。ぜひご利用くださいますようお願い申し上げます。
- ★事前予約センターでは検査予約と担当医師の指定はできませんのでご了承ください。



■ ご利用につきましては、以下の手続きをお願いいたします。

① 医療機関さま

右記を患者さまにお渡しください。



- ①『紹介状(診療情報提供書)』(封筒に予約診療科を必ずご記入ください)
※名刺や検査結果、健診結果のみでは診療情報提供書の代わりにはなりませんのでご注意ください。
- ②『事前予約申込票』(予約先診療科名をご記入ください)

② 患者さま お電話をされる前に、
右記をお手元にご用意ください。

- ①『紹介状(診療情報提供書)』
※紹介状がお手元がない場合、電話でのご予約は出来ませんのでご注意ください。
- ②『事前予約申込票』
- ③『診察券(当院受診歴がある方)』※初診の方も予約可能です。

③ 患者さま『事前予約センター』へ
お電話ください。

専用電話番号

(075)311-6361

受付時間/月～金(9:00～17:00) ※土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)を除く

- ご予約は前日17:00まで受付しております。

▶ 電話予約時に確認させていただく内容

- 患者様のお名前(漢字・ヨミガナ) ● 生年月日・性別
- ご連絡先(電話番号等) ● 紹介元医療機関名・予約診療科



④ 患者さま 受診当日は以下のものをご持参の上、本館1館『①番窓口』へお越しください。

■ 先生から受取ったもの

- 紹介状(診療情報提供書) ● 事前予約申込票(必要事項記入済みのもの) ● フィルム等(お持ちの方)

■ 別に必要なもの

- 健康保険証 ● 各種受給者証等 ● お薬手帳又はお薬の服用状況等がわかるもの(お持ちの方)
- 京都市立病院診察券(当院受診歴がある方)

■ 紹介患者さま事前予約センターでの予約可能な診療科は以下のとおりです。

- 呼吸器内科 ● 消化器内科 ● 循環器内科 ● 腎臓内科 ● 神経内科 ● 血液内科 ● 内分泌内科
- 糖尿病代謝内科 ● 感染症内科 ● 総合内科 ● 小児科 ● 外科 ● 乳腺外科 ● 呼吸器外科 ● 脳神経外科
- 整形外科 ● 皮膚科 ● 泌尿器科 ● 産婦人科 ● 眼科 ● 耳鼻咽喉科 ● 歯科口腔外科 ● 精神神経科